

保育かながわ

第16号 昭和50年9月15日
 発行所 横浜市神奈川区
 沢渡4の2
 神奈川県社会福祉
 協議会保育分科会
 編集人 安部龍巖
 発行人
 題字 故内山岩太郎筆

昭和50年度 全国保育研究テーマ

主題 保育所の今日的課題

今日、婦人労働者の増大、核家族の進行、生活環境の悪化などによって多様化する保育ニーズを、われわれ保育関係者は保育所の今日的課題としてうけとめ、保育大会のすべての研究分科会で“家庭保育と集団保育”と“保育と保育労働”とそれぞれのかかわりを子どもを中心に、日常の保育実践のなかから問題点を整理し乳幼児福祉の向上への方途をさぐるうとするものである。

すべての児童の

幸福をはかるために……

第19回全国保育研究大会

第十九回全国保育研究大会が去る八月二十六日より三日間、岩手県花巻市で開かれた。台風六号の直後なので参加者の出席が危ぶまれたが、二〇〇余名が参集し各会場とも盛会であり熱気のこもった大会となった。

第一日は花巻市民体育館で総会を開き、開会式にひきつゞき総会となり厚生省の長尾課長よりきめ細かい行政説明のあと、シンポジウムに移り集団保育と家庭保育夫々の立場とその他、わりについて研究討議が進められた。時間の短かさを痛感し乍ら幕を閉じた。

の疲れをいやした。

緊急動議が出され台風五、六号による各地の災害情況の報告とその救済資金カンパが満場一致で可決され、大会々場でのカンパとその後、大会々場での救援を約した。

第二日目、三分科会八分散会と特別分科会に分れ、保母さんが保育の中で休憩が取れにくいことに同調してか会議中の休憩時間も短縮されての研究討議となった。

夜は夏の夜の納涼となり、鬼踊り等郷土芸能の観賞、わらべ歌の大合唱など親睦の輪も広がり昼間の疲れをいやした。

三日目は、悲劇の詩人高村光太郎を花巻病院院長佐藤先生が親しく話され感銘を深めた後、大会宣言を朗読し、来年度大会開催地千葉県での再会を約し、又逼迫する社会情勢の中で新しい日本の芽となる乳幼児の育成と幸福のためにお互の活路精進を期し夫々故郷へと散った。

大会宣言

雨ニモマケズ
 風ニモマケズ
 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
 丈夫ナカラタヲモチ……

夢多き少年の日、誰もが口吟み魅せられた詩人宮沢賢治をはじめ、多くの詩人や文人が愛した岩手県の花巻において、われわれ保育関係者は、第十九回全国保育研究大会を開催し、主題に「保育所の今日的課題」をかかげて、日本の未来を託する子どもたちを何う守り育て、いくべきか、その隘路は何かなどについて、児童福祉の原点にかえて研究協議しました。

その中で子どもたちの成長にとって、家庭と保育所とそれぞれが大事であり、互に役割のちがいを明確にしあうことが、何よりも大切であることを再確認しあいました。そして育児に対する社会的評価を高めるためには、一方では家庭での育児を保障するための諸政策を進めさせ、他方では保育所の諸条件の整備を緊急におし進めていかなければなりません。

——中略——

われわれは子どもたちの成長発達をはばむ多くの問題点の解決に努力すると、もに、信頼に応える保育所の運営をいっそうすすめるために、互に研鑽に研鑽を重ねていくことをここに確認し、各地において子どもたちが必要としている福祉と教育の保障をきめ細かく実現するために卒先してとらしくむことを宣言いたします。

一九七五年八月二八日

第一九回全国保育研究大会

全社協保育協議会

近況報告

さる五月一、二日熱海市において開催された全社協保育協議会において、五十年度事業計画、予算役員が改選されたことは大方ご存知のことと思います。特に前年度と異なる点は事業計画の執行に当って従来中央委嘱委員制度が廃止になり各県選出の協議員が(県安部、横浜菱川、川崎鈴木各会長)がそれぞれ専門部に所属して、事業執行の責任を分担することであり

ます。

全保協会長に再選された水戸良一会長はその挨拶の中で、最低基準改訂にむけての基本的な検討、所長、保母の身分法制定、保幼問題についての制度改善の研究の取り組み、組織の強化、業界をあげての協調と団結を訴え、一歩づつ着実に前進をと、表明された。

全神奈川の保育組織、団体としては中央における事業計画、活動に対して関心を払い、中央、地方の連帯を深めて行く必要があり、そのためには特に中央の動きを知ることが反映させる途ではなから

うか。ところで、さる六月十一、十二日に常任協議会が開催され、各部の事業の具体化が決定しました。

総務部(本県安部会長が部長) この部の所管で問題となるのは、財政の確立強化に伴う分担金の早期納入に対しての、公立関係の納入、特に昨年度のカンパ未納残金の解消と、組織活動の面について公立専門委員会は別として、私立専門委員会の新設は、全国組織としての他の保育団体(日保協、全私保連)との関連もあり、この委員会が「公私格差」を含めた運営組織化の問題等について、他団体との調整、協力関係の樹立を特に提唱するものであります。

広報部については、「保育の友」誌の編集委員に今井幸子(川崎市公立向丘園長)が推選され、今後の活躍を期待するものであります。

調査研究部は全国大会、所長研修会等の関連する調査の実施が事業とされていますが、研修については日労働、厚生省主催の所長、主任保母研修計画の調整作業、

さらには福祉給与表の作成に対する県の職員給与改善委の準則、就業規則、労基法との関連もあり、注目される問題を抱えております。

予算対策委員会、昭和五十一年度国家予算に対する保育関係予算要求項目はすでに細目が決定され、着々と運動が進められていますが、問題は、地方自治体に対する予算運動の取り組にあります。税収赤字による歳入欠陥、これに加えて超過負担問題、これに追い打ちをかける地域よりの幾多の保育要求等、中央で定めた要求内容の主なものとしての給与格差是正、労基法順守のための保母増員、給与体系確立と専門職の法制化等があげられていますが、これらを国家予算に組み入れる前段階として地方自治体による予算化を必要としているが、現時点では県、指定都市が保育所に対して独自で講じている県単、法外補助に対して改めて洗い直す情勢にきています。当県、二市に対する予算運動は対国以上に困難になるものと思えます。

保育予算要求全国一〇〇万人統一予算対策運動としては、保育の日を中心にして、全国統一運動目標を設定して、地方自治体の予算運動を盛り上げることが話し合われ統一運動目標が設定されました。

この点については識者、あるいは報道紙の論説も強調している。

横浜市幼児問題協議会では、飛鳥田市長から協議を求められていたが、先ごろ市長に対して、そのまとめを報告した。

報告は幼稚園と保育所の一元化、幼児能力早期開発の考え方など「幼児教育の理念」を打ち出したのをはじめ、数多くの幼児問題の根幹に触れる提言を行っている。

この中でも「幼児教育の理念」は市民参加の協議の中で初めて明らかにされたものであり注目されている。

飛鳥田市長は「子供を大切に(市政)」を標ぼうし、幾つかの施策を行っている

が、この施策に一貫した思想が通ったことにある。

問題はこの理念を施策にどう反映させ、より前進させることにある。

幼・保の関係についても、理念で指摘されている幼・保一元化は教育主体の幼稚園と生活中心になっっている保育所の教育・保育内容を同じにしようとするもので、その論拠とする「教育」はある一定量のものを与えるのではなく、幼児の生活や遊びにかかわりながらなされるべきだとしている。

「福祉」の考え方は困窮者救済から、児童などの社会的弱者を包含、特に教育の分野にも及んでいく、としている。

幼・保に行政主体、施設の違いはあっても、そこは大きく変わる幼児は常に共通した条件に置かれるのは当然であろう。

この報告では幼児問題の研究機関設置も提案している。国では幼稚園は文部省、保育所は厚生省と所管を分けており、市においても幼稚園は総務局、保育所は民生局等、子どもをとりまく部局が分かれ、バラバラ行政を正すことに視点を置いている。

この際この報告に基づき、理念と実践との調和を目指した、真の幼・保一元化を期待するものである。

「幼児の教育と福祉の基本的な考え方について」の報告について

(横浜・藤田)

昭和五十年

神奈川県保育会
上半期事業報告

◎ 総会ならびに研修会

四月三十日、県社会福祉会館において開催、四十九年度の事業報告決算にひきつづき、今年度の事業計画、予算案がそれぞれに承認されました。総会終了後、全社協福社部長、河田正勝氏による「昭和五十年度国の保育所関係の予算にかかる諸問題」のテーマで講演があった。今年度事業のご理解とご協力を願います。

◎ 第九回神奈川県保育事業大会

恒例の大会は五月十日、県社会福祉会館にて、二五〇名余の参加者と多数の関係者を迎え開催されました。式典の後、全国共通研究テーマである「保育所の使命と今後の課題」の下に各研究部会において研究発表、討議がなされました。それぞれの発表と助言が明日への保育の成果となることでしょう。

◎ 新任保母奨励会

六月二十八日、県社会福祉会館において、第二回の奨励会が

開催され、一六〇余名の新しい保母が一堂に会し、関係機関の来賓の方々からの激励と期待のこぼをいただき、京浜女子大学々長松本尚氏の「保母としての生甲斐」と題しての講演の後、軽妙なアトラクションに意義ある一と時を過ごしました。

◎ 求人開拓事業

今年度の事業活動の内容を次のように協議されました。

- (1) 委員会の開催。
- (2) 昨年度よりの事業活動



第9回神奈川県保育事業大会

- に対する実績の調査、(すでに実施済)
- (3) 広報活動として全国養成校に対しての募集案内の送付
- (4) 県内保母養成校との懇談会の開催、(までに二回の懇談会を談

- の理解と信頼により更に次の機会が持たれることでしょう。
- (5) 県外、および県内養成校への訪問

ごあいさつ

神奈川県保育会 安部 龍 殿
県社協保育分科会委員長

平素本会のために御協力いた
だいておりますことを感謝申し
ます。

皆さまも御承知のように県
民の保育要求は増大しておりま
す。これに対し、県当局を始め
各市町村においても積極的に育
成助長の方策をおすすめてい
ることは、私共保育関係者も又
保護者も共に感謝しております。
本県においては、四六九カ所(一
県二四六カ所横浜一四六カ所・
川崎七七カ所)の保育所の数を
数える現況となり、質的にも向
上をめざして前向きな姿勢を示
していることは力強き限りであ
ります。本会は、会員各位の理
解と協力のもとに各種の活動を
薦されました。宜しく御支援の程を。

保母求人募集

神奈川県保育会事業の一環とし
て慢性的保母不足の現状を打開す
べく昨年度に続き本年度も既にそ
の事業を開始して来た。県内の全
保母養成校との懇談会を六月、八
月と二回もち、夫々の立場から現
況説明し労校の立場、学生の要望
幼稚園の動向、施設側の要請、現
況等相互的理解を深め、意志の疎
通をはかった。

九月、十月には担当委員全員が
県内の全養成学校を訪問し、又県
外の各関係学校に対しては、保母
募集案内を送付し求人依頼。近
県の関係校並に本県と交流の深い
学校を重点的に訪問し、福祉県神
奈川を強調し懇談した。



県保育会

昭和50年度民間保育所への補助事業状況

(県・指定都市)

(他の市町)

地域名	補助単価 (県)	補助単価 (横浜市)	補助単価 (川崎市)	内助補容
事業名				
経営調整費	事務費の18%以内	措置費の事務費×20%	事務費18%	
保母雇用費	有資格 72,800円/月 無資格 72,000円/月	72,000円/月	72,000円/月	年間17.2月分
長時間保育費	472円/時間	(時間外託児助成費) 450円/時間	472円/時間	
乳児保育奨励費	4,000円/月	4,500円/月	2才未満4,000円 0才5,000円加算	
調理員雇用費	19,500円/月	19,500円/月	19,500円/月	
給食指導費	860円/月	705円/月	860円/月	
障害児保育費	4,000円/月	31,000円/月	(特別扶助費) 3,000円/月	
事務職員雇用費	30,000円/月	23,000円/月	30,000円/月	
給食助成費	440円/月	440円/月	3才未満 462円 3才以上 528円	
採暖費	100円/月	50円/月	6月×100円	
慰勞金	夏 30,000円 冬 35,000円	(研修費) 夏 30,000円 冬 35,000円	60,000円	
保育会・保母会	保育会 750,000円 保母会 400,000円	(私立) 500,000円/年		
行事用給食費	—	—	80円×8回	
健康診断委託費	—	—	嘱託医 4,000円/月	
寝具衛生費	—	—	(私立) 645,000円/年	
施設整備借入金返済分補助	事務費2%の範囲内	—	事務費2%の範囲内	
賠償責任保険事業費	1,027,736円/年	401,380円/年	50,000円/年	
学校安全会事業費	—	—	73,000円/年	
民間保育所運営成費	—	—	6,450,000円/年	
施設整備補助費	—	—	61,340,000円/年	基準 5㎡×120名×93,120円

地域名	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	三浦市	伊勢原市	南足柄市	座間市	秦野市	松田町	真鶴町
事業名															
児童措置委託		850円/月	400円/月	960円/月	500円/月		1,000円/月	年長児の教材費 6,000円/年	奨励費 300円/月 学校安全会 500円/年 交通安全共済 350円/年	300円/月	300円/月	370円/月			
乳児保育奨励費 乳児栄養調査委託料	○		○					保育費 500/月 奨励費 300/月						10,500円/月	
児童用給食助成								220円/月							
障害児保育加給費		10,000円/月						1人 6,800円							
慰勞金		13,000円/年	11,000円/年	15,000円/年	20,000円/年		20,000円/年				8,000円/年	3,600円/年	8,000円/年		
嘱託医				4,000円/月		5,000円/月									
職員研修費	25,000円/月														
公私格差是正	平均 400,000円		園長 18,000円 保母 16,000円 # 無4,000円 調理員12,000円	均等割分 5,000円 実数割分 2,000円		2,500円/年		期末手当 22,000円/年 限 9,500円 保母 8,500円 # 無 7,500円 調理人 6,000円	2,500円/年						5,000円/年
退職共済掛金		標準給額の18%					自己負担分の補助								
給食指導費															
時間外手当	○		○	1,700円/月											
施設整備								管理費 児童1人当 100円/月	50,000円/月						
園舎建設借入金補助			乳児保育 20,000円 基準単価 (77,600) 面積の半 宿舍 250万限度												
運営補助費		340円/月													
借地料補助				支払地代の50%											
保育会 保母会	保育会 30,000円 保母会 20,000円	保育会 40,000円 保母会 157,000円	保母会 20,000円		保育会 60,000円 保母会 150,000円	保育会 35,000円	保母会 20,000円	保母会 70,000円		保母会 30,000円	保育会 10,000円 保母会 57,000円				
その他								貸付金あり							

地区だより

昭和50年度 — 保母会活動 —

神奈川県保母会

あじさいの花が雨の中にひときわあざやかな六月、五十年保母会も歩みはじめて二ヶ月となりました。地区保母会も新しく伊勢原市保母会が誕生し十六地区となり会員数も二千名をこえようとしています。各委員の方々も意欲にあふれ期待されて居ります。

五十年事業活動について報告致します。

研修部

乳児研究会

幼児研究会(障害児研究)

の各研究会に積極的に参加し保母会と研究会とのパイプ役を果す又身分法について研究会を持つ様にする事とし研究委員のあり方についても各方面からの方々を委員にお迎えする事にす。園長(保母経験のある)方学識経験者、行政指導面の方又その前に研修部と正副会長による打合せ会を持つ。身分法について先づ試案が地区保

母会々員まで浸透しているか確認し意見をきき時間をかけて研究しゆくことになりました。次に研修会を11月8日(土)に計画しました。講師は交渉中です。

広報部 年間二回発行十月、一月原稿の集め方を工夫する。編集校正、カットすべて自分達の手で行い内容の充実を図る事にしました。張切つて居ります。ぜひ原稿を

体部部 第十一回体育祭が開催された。日時 九月二十八日(日)十時 場所 平塚市江陽中学校 次期開催地は藤沢です。よろしくお願い致します。多数の方々の参加をお待ち致して居ります。

第十六回関東ブロック保育事業研究大会に県保母会から次の発表をしました。

体力づくり 相模台保育園
全体会議 藍原益子
乳幼児のデイリープログラムと保母の活動

分科会 朝比奈 稔
保母の身分法について

神奈川県保母会会長

特別分科会 横山タマ子

次に昨年計画し実現できなかった保母会との合同委員会を本年度は是非実現させたいと願っています。定例会々場について地区にも計画しました。よろしくお願い致します。七月、平塚、九月十月、社協、十一月小田原、一月厚木、二月藤沢、三月社協、以上簡単ですが五十年保母会の事業活動について報告致します。

(横山タマ子)

鎌倉市の現況

◆鎌倉市の市長は革新市長としては古い。市長の公約は過去何回かの選挙中一貫して福祉政策であった。しかし毎年一園ずつ公立の保育所はできるもの、私立への助成はこくわずか雀の涙ほどで、同じ革新市長である隣の藤沢市と比べてどうしてこうも差があるのだろうかと嘆くことしきりであった。

二年ほど前、鎌倉市に県下で初の幼児教育審議会が設置されその委員に選ばれたのを機に公私の格差や私立保育園の現状などを積極的に訴えた。委員である与党共産

党議員の無認可施設への助成案については徹底的に対抗した。市長はこの審議会を防波堤としてい

いような陳情を「審議会の答申が出るまで」とのぼしていたので、何とか具体性のある答申をと努力したが、結果は御存知のとおり抽象的なものに終ってしまつて残念である。

鎌倉市は公立七園私立三園だがここ五年間ほど公私合同の園長会が開かれたことがない。何とかして早く保母会を作らなくてはいいなと思つている。

当市の公立保母の給与・賞与は県下随一といわれるだけにその格差も実に大きい。今の世の中要求しなければ何も出ないことはわかっているが、私立三園では力の程は知れている。でも何もしないよ

りわと市長に直訴した。担当の部、課長係長さんは御自分達の努力の様はオクビにも出さず、「少額ですみません」と辞を低くして提示された額は次の通りである。

園長 月額一万八千円
有資格保母月額一万六千四百円
無資格保母月額一万四千元

調理員事務員月額一万二千元
市長に陳情した際の感触ではまったく期待がもてなかつただけに、この措置は大変ありがたく、当局担当者に心より感謝したい。そして今年は更にその格差が縮まるように努力したい。市役所にでかける私に「園長先生いつてらっしゃ

い」と手を振る保母たちの中にやかな顔をみるにつけ「ガンバラなくっちゃ」と張切る昨今である。過日市児童課長の肝煎りで消防署員による地震対策の研究会が持たれた。津波の被害が心配される地域だけに特に津波の際の避難方法について活発に討議がなされ盛会であった。

岩瀬保育園富田英雄



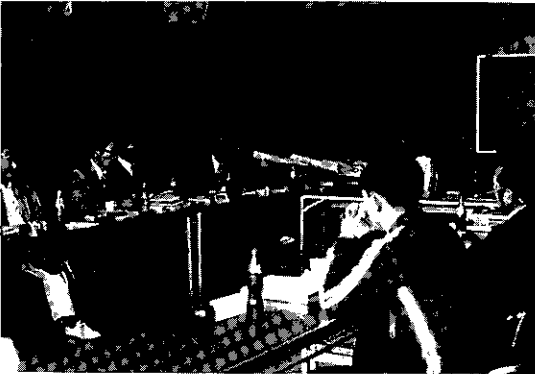
民間社会福祉従事者への福音

松下基金の運用状況

松下電器産業株式会社より神奈川県・横浜市・川崎市を通じての寄附金を基に、民間社会福祉事業の振興を期するため、民間社会福祉事業従事者福利厚生基金を設置し、その果実により従事者の福利厚生増進及び研修事業を実施することになった。

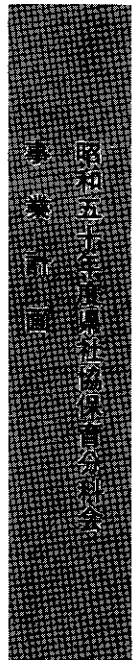
県は(1)専門ゼミナー派遣(県外各種講座に派遣し、当面する福祉課題についての知識を深めさせる)(2)視察研修(県外優良施設に職員を派遣し実習する)(3)現任訓練(JST)

監督者研修、調理担当者、保育講座等)県福利協会主催の従事者慰安旅行(バス旅行一泊)県外ホテル、旅



館宿泊の補助等の慰安行事。横浜市は本年度の事業として観劇と一泊旅行にきまり、観劇は七月九日、県民ホールで上演の青山青果劇場で、一泊旅行は九月中に実施することに計画されている。六月一日現在二、一六五名(保育所一、〇五五名)を対象に三年計画の本年度の従事者が参加することになっている。

川崎市においては、海外派遣研修(欧州二〇日間)作業服無償交付(二年計画、二年目)福利厚生事業、福利協会分担金の負担、その他である。



当分科会は、神奈川県保育会、横浜市社協保育福祉部会の活動を基盤として、下記事業を実施する。

一、代表者打合会の開催
分科会の円滑な運営をはかるため、年一回代表者会議を開催する。

二、委員会の開催
分科会事業、予算等重要なる事業を審議決定するため委員会を年

二回開催する。

三、会報の発行
会報「保育かながわ」を年二回発行する。

四、労基法問題研究委員会の開催
保育所における労基法の問題を研究し、その対策を立案するため、研究委員会を年三回開催する。

県社協保育分科会予算

科目	予算額	備考
部会配分金	556,000	
計	556,000	

才出

科目	予算額	備考
1. 会議費	40,000	委員会2回 30,000円 代表者会議2回 10,000円
2. 事務費	116,000	消耗品費、通信費他
3. 会報発行費	45,000	印刷費 40,000円 編集委員 5,000円
4. 研究委員会費	15,000	3回 15,000円
5. 地区活動費	330,000	県 233,000円 横浜市 97,000円
6. 子備費	10,000	
計	556,000	

昭和五十年年度園長会 役員改選

- 横浜市 —
- 部会長、会長 兼川 馨(聖徳)
 - 副部会長 原田 隆司(かつら)
 - 梅田 文次(横浜ルンビニ)
 - 森岡 享裕(東漸)
 - 齊藤 武俊(公立金沢さくら)
 - 副会長 大岡 良嗣(奈)
 - 事務局長 藤田 保夫(ことぶき)
 - 次長 鈴木 生英(久良岐)
 - 庶務 渡井 奎(マヤ)
 - 計吉田 晋日(枝)
 - 原田 隆司(かつら)
 - 労務管理部長 松川 和照(大船ルートル)
 - 保育内容部長 兼川 貞子(天網)
 - 施設運営部長 中村 利一(西谷公民館)
 - 子対部長 高生 正明(屏風ヶ浦)
 - 保母部会長 (私立)橋田 英子(東漸)
 - 監事 (公立)渡々地都子(保土ヶ谷)
 - (私立)山本光義(市場)
 - (公立)桐谷 政次(瀬谷)
 - 地区委員
 - 鶴見区(東漸) 南港南区(久良岐) 西区(さくら) 中区(勢福祉センター) 金沢区(白梅)
 - 港北区(平和台) 緑区(田奈) 瀬谷区(瀬谷) 公立(汐田、長津田)
 - 昭和五十年度保母会役員
 - (公立)
 - 会長 長 渡久地都子(保土ヶ谷)
 - 副会長 三井 良子(名瀬)
 - (私立)
 - 会長 橋田 英子(東漸)
 - 副会長 佐藤 智子(あおぞら)
 - 折田 博子(久良岐)以下役員十名

福祉国オーストラリアの 運転手さんはなし

資源と自然の宝庫であるオーストラリアを訪ねて先づ驚かされるのは、国全体が新しい息吹に脈うち、絶えず活動的であり、日本とは余りにも対照的な面が多いということである。

私が訪れた三月はこの国では夏であり、気候では日本と正反対であった。

土地の広さはアメリカ合衆国とほぼ同じ位の広さがあり、人口は日本より少し多い位なので人口密度では問題にならぬ程の差がある。その広大な土地に古い歴史と新しい社会とを美しく調和させ乍ら、自然環境を失はぬよう大切に保持し、育成しているのである。

シドニーにもメルボルンにしても街中に広大な自然公園を残している。そして一方には海の幸である貝の形をとった斬新な設計で有名な「オペラハウス」とか、48階建のオーストラリアスクエアビルとか、新しい時代の近代建築美が自然の環境と美しく調和されているのである。

社会保障についても世界にさきがけて婦人参政権を獲得した記念塔がメルボルン市街に誇らしげに立ち、又世界の先進国である英国

が、ニュージーランド、オーストラリアの社会保障制度をモデルとしてその多くを学びとったという。

社会保障制度においても近代国家としてユニークな存在である。

然しこのように完全に近い社会保障制度の進んだ国でも不満の声はつきない。

若いハイヤー運転手——

(この国ではヨーロッパのようにチップの心配はいらない)

「税金が高いのでねえ、老後の保障もよいが、若い現在の生活をより楽しみにたい気持だよ……。」

観光バスの運転手——

「僕は10年位牧童をしていたけれど何十年働いても牧場主にはなれないことが分かったので止めた、そして今バスの運転手をしているが、二人の子供を預って養育しているよ……。」

この国では貧富の差は少ないが、一獲千金のチャンスは少ないという。

美しい花が二ばいのオーストラリアの市街を半裸体の男子が悠然として走っている姿に出くわすのでよく驚かされる。これは保健省が奨励している裸体運動の一環であるとか。

スポーツの盛んなのもお園柄といえ日本ではとても見られない光景である。

新日本保育園長

鈴木 栄一

神奈川県保母会新役員

会長 横山タマ子

平塚市 金目保育園

副会長 中村香代子

川崎市 藤崎町保育園

副会長 石野美知子

南足柄市 南足柄市 柳川ヒサ江

庶務 栗原きよ子

庶務 南足柄乳児保育所

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市

庶務 南足柄市 南足柄市 南足柄市



あともがき

△どうとう神奈川県政も革新化された。これを新聞はこぞって「長洲丸のななばなしい出帆」とたたえた。しかしこの航海ははたして平穩無事だろうか。最近とみに苦しくなった県財政で補正が望めなくなった以上、今迄の津田丸と比べて変りばえはしないだろう。現に与党現議員が新知事に望みをかけていた幼稚園就園家庭の各個助成については、「その必要なし」と新知事によって結論が出されている。

今後日本の海はますます荒れるだろうからその大波をまともにかぶる神奈川県長洲丸の航行は苦しいものとなろう。しかし暗夜の荒海の灯台である高次元の福祉政策だけは是非積極的におしすすめられんことを新知事に期待する。神奈川が低福祉県だといわれぬように。

(富田)

△保育所に対する県市の補助事業の現況表で発刊が遅れ申訳ない。

△社会経済の落込みが深くこれ

からの保育ケースも大きく変ること、思う。

保育時間の問題、保母の労働問題、保護者とのか、わり等、保育所だけで解決出来る問題ではないが、降りか、る火の子は自分達で処理しなければならぬ。

い。

編集委員

安部 龍巖

鈴木 萬史

富田 英雄

横山タマ子

鈴木 栄一

被災地 青森県 一ヶ所

山形県 一ヶ所

高知県 一七ヶ所

(日下保育園の副理事長、園児三名死亡)

●配分方法は保育三団体(全社協・保育協議会・全私保連・日保協)に一任。

●申込受付 県保育会事務局